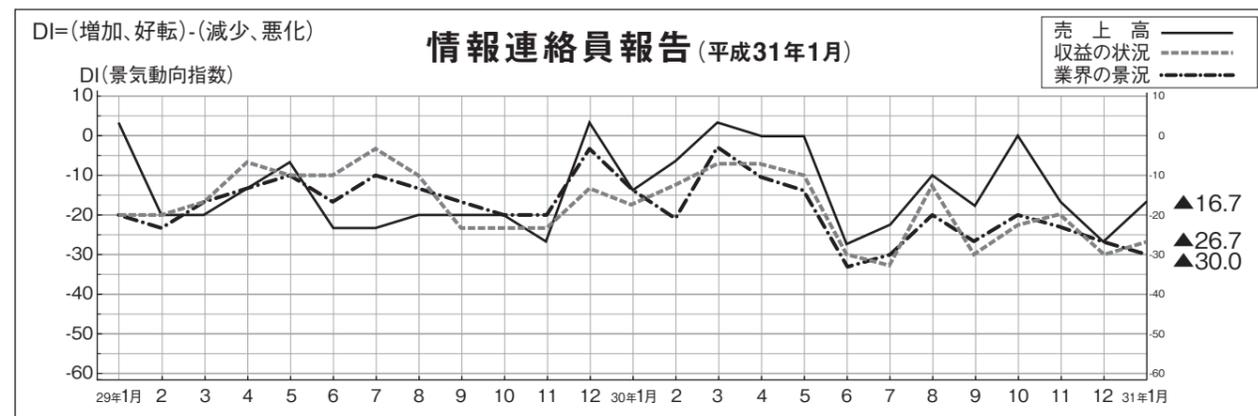


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向 2019年1月(前年同月比)



業界の状況

☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>1月の商況は前年並みであるが、2、3月は、首都圏で開催される大型の展示会や商談会があり、地産外産活動が活発になるため期待している。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>出荷量は前年同月比102.2%であるが、地域差が大きい。</p>
<p>酒類製造</p> <p>売上微増ではあるが、市場の感覚としては厳しいものがある。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は前年同月比101%。市況は、昨年7月の西日本豪雨に係る災害復旧工事の発注に伴い、昨年度並に回復してきた。</p>
<p>テントシート</p> <p>原油価格の高騰に加え、動燃費の値上がりや人件費、物流コストの上昇等は継続しているものの、全般的には通常年度の環境に戻った業況である。</p>	<p>機械団地</p> <p>売上高は前年を少し上回る企業もあるが、収益状況など他の指標に特段の変化は見られず、団地内は横ばいの業況が続いている。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>スギ・ヒノキ共搬入量は20%程度減。価格はスギ・ヒノキ共に横ばいであった。</p>	<p>刃物製造</p> <p>昨年後半より価格改定が一部の生産者から出始めている。当業界としても4月頃より価格の改定をせざるを得ない状況にある。</p>
<p>製材</p> <p>目立った動きがなく現状維持の状態が続いている。</p>	<p>船舶製造</p> <p>操業度は高い水準を維持しているが、先行きの不透明感からか、顧客の設備投資意欲が慎重になってきている。</p>
<p>製紙</p> <p>県内製紙業に占める家庭紙の割合は、京花紙・ちり紙の全盛期からすると大きく落ち込んでいる。大手企業に出来ない高品質製品に特化しているが、原材料、運賃、人件費等の高騰で厳しい状況が続く。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>特に業況に変化はなく、1月製品会取引高についても、前年度同月の取引と大差ない結果となった。</p>
<p>印刷</p> <p>県内需要は官公需、一般共に低調。県外需要に関しても同様。全体的に微減と思われる。</p>	<p>卸団地</p> <p>暖冬の影響か、冬物商材の動きが悪く、観光・外食は低調であった。年末・年始は、人手不足の影響で休業にした店が増えた。</p>

青果卸売

野菜、果実ともに12月の状況と似た傾向。入荷量が5%ほど改善されたが、平均キロ単価は12月同様、野菜80%、果実95%程度であり、全体実績も12月より3%程度改善の85%程に留まった。

商店街(四万十市)

売上等は前年度とほぼ同等と思われるが、1月上旬は新年会、下旬は厄除けや還暦のお祝い等で人通りや飲食店の人の入りは多かったように思われる。

生鮮魚介卸売

漁獲量が少ないことや高値で取引される県外市場の影響から、マグロ、カツオ、小物等全般的に入荷量が少なかった。特にマグロは去年の9月頃以降入荷が少なく状態。

旅館・ホテル

年末年始から成人式には、ほどよい繁忙感があった。中旬以降は新年会を兼ねた企業研修等の泊付プランがバランス良く入った。後半は、インフルエンザの影響で若干目標値を下げた。

各種小売(土佐市)

毎年1、2月は各商店の売上げが少なく、今年も変わらず厳しい月となった。

飲食店

第一週の集客は前年と変わらないが、それ以降は成人の日の連休を含め客足が鈍く、売上げが減少した。

ガソリンスタンド

OPECと非OPECの協調減産効果や米中貿易摩擦の懸念後退等で原油市況が上昇し、石油元売り会社の仕切り価格は大幅に上昇したが、本県の石油製品価格は12月まで下落した原油により、1月上旬より値下がりがした。

旅行業

組合クーポン前年同月対比117%、全旅クーポンを加味して91%。単月の売上げは減少だが、総売上げは前年比112%で推移している。

電気機械器具小売

全体で、前年比88%(販売金額比)。特にテレビが悪かった。

一般土木建築工事

平成31年1月分の公共土木生コン出荷量は、前月比110.2%、前年同月比103.8%。平成30/4~31/1累計においては前年同月累計対比89.4%の水準。1月の公共工事請負金額は前年同月比で85.4%、前年対比累計金額では98.0%。

中古自動車小売

在庫数が減少。業界全体の在庫不足により、車種によっては相場が上がっている。

電気工事

高知中央地区の組合員が施工する電力引込線関連工事量の伸びに支えられ前年同月比115%となった。

商店街(安芸市)

特に大きな動きはなく、引き続き空き店舗を活用したコミュニティの場づくりに取り組んでいる。

一般貨物自動車運送

燃料価格は3ヶ月連続で値下げとなったが、1月が底値であり、2月以降は値上げに転じるとみられることから、組合員企業にとっては2月、3月の繁忙期に不安を残すこととなった。

商店街(高知市)

中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比102.1% 台数:前年比101.6%。想定される津波の深さや到達時間等に対する認識向上、観光客への対応も含め、アーケード内への標識設置を検討中。

タクシー

実働1日1車当りの前年同月比営業収入:99.9%、輸送回数:100.4%。当月の実働率(車両稼働率)は67.3%。運転者不足のため、車輛稼働率が悪く、営業収入が減少気味である。

挑戦の数だけ、
保険がある。

To Be a Good Company
東京海上日動

